

# 平成30年度 学力向上プラン

深谷市立幡羅中学校

R  
分析

## 全国学力・学習状況調査より

- ・国語では、漢字の読み書きや、文章を読み問題に正しく答えることができた。
- ・数学では、式を利用した説明やグラフの読み取り、数や式を使った比較がよくできているが、式の意味を問われる問題を苦手としている。
- ・理科では用語の定着、表やグラフから考える問題は理解できているが、問題文の読み取りや理解をできないと思われる解答が見られる。

## 埼玉県学力・学習状況調査より

- ・全学年ともに県の正答率を上回ることができたが、読みことや書くことが他の分野に比べて正答率が低い。
- ・特に数学では記述式でも正答率が高く、粘り強く解こうとする意欲が高い。

## NRT・NINOより

- ・中位、上位層は比較的多いが、最上位層は少ない。アンダーアチーバーも少ない。

G  
ゴール

## 【平成34年度までの目標】

- 全国学力・学習状況調査の平均正答率において、継続して全国平均を上回る。
- 県学力・学習状況調査の平均正答率において、継続して県平均を上回る。
- NRT・NINOで偏差値50を上回り、アンダーアチーバーをゼロにする。

## 【来年度に向けての数値目標】

- ◎来年度に向けて、上位層3%増やし、下位層を3%減らす。

参考 第2期深谷市教育振興基本計画より

指標名		現状値 [H30(2018)年度]	目標値 [H34(2022)年度]
全国学力量習状況調査の正答率において、県平均を上回った学校の割合	小学校	44.7%	58.0%
	中学校	32.5%	55.0%

【次年度に向けての重点計画】

- ・ B問題を積極的に授業・定期テストに取り入れる。
- ・ 校内の成果を上げている取り組みや単元計画を分析・研修し、相互授業参観を行い、授業力を高める。

8月

校内研修（本校の課題の共通理解・全教職員で全学調問題確認）

校内の良い実践例・単元計画の検証

9月

校内研修（校内の実践例・単元計画）

英検対策講座

10月

校内相互授業参観（他教科の学力向上の取り組みを参観）

11月

校内研修で報告・共通理解

12月

B問題を取り入れた期末テストの実施

1月

校内相互授業参観（他教科の学力向上の取り組みを参観）

2月

数検対策講座

3月

B問題を取り入れた期末テストの実施

教科部会

各教科の取り組み

（各教科のB問題を意識した授業・テストの取り組みの確認）

朝学習の実施  
基本問題の反復

B問題を意識した授業の実施・定期テスト

家庭学習の確認

読書集会強化